

平成26年第13回甲賀市教育委員会（定例会）会議録

開催日時	平成26年11月25日（火） 午前10時01分から午前10時58分まで	
開催場所	甲賀市役所 甲南庁舎 2階 第2会議室	
出席委員	委員長	山田 喜一郎
	委員長職務代理者	小川 浩美
	委員	藤田 正実
	委員	今井 智一
	教育長	山本 佳洋
事務局出席者	教育部長	安田 正治
	次長（管理担当）	保井 達也
	次長（指導担当）	呉竹 弘一
	人権推進課参事	廣岡 由美
	管理監兼社会教育課長	福山 勝久
	教育総務課長	西出 八津子
	学校教育課長	立岡 秀寿
	こども未来課長	島田 俊明
	文化スポーツ振興課長	山下 和浩
	歴史文化財課長	縮谷 隆
	甲南図書館交流館長（図書館統括担当）	保井 晴美
	甲南公民館長（公民館統括担当）	山寄 吉未
	教育総務課参事	廣岡 正光
	学校教育課参事	藤村 加代子
	教育総務課総務企画係長	田村 勝也
書記	社会教育課長補佐	伴 統子

議決・報告事項は次のとおりである。

1. 会議録の承認

- (1) 平成26年第12回教育委員会（定例会）会議録の承認

2. 報告事項

- (1) 11月 教育長 教育行政報告

3. 協議事項

- (1) 議案第70号 甲賀市漢字検定料補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
- (2) 議案第71号 平成26年度教育に関する事務の管理並びに執行の状況の点検及び評価に関する報告書の策定について
- (3) 議案第72号 平成26年第7回甲賀市議会定例会（12月）提出議案に係る教育委員会の意見聴取について
- (4) 議案第73号 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果に係る学力向上啓発資料について

4. その他、連絡事項など

- (1) あいこうかうたプロジェクト2014開催について
- (2) 平成27年成人式開催について
- (3) 平成26年第14回（12月臨時）教育委員会について
- (4) 平成26年第15回（12月定例）教育委員会について
- (5) 平成26年第15回教育委員会委員協議会について

◎教育委員会会議

〔開会 午前10時01分〕

管理担当次長 みなさんおはようございます。それでは、ただ今から、平成26年第13回甲賀市教育委員会定例会を開催させていただきます。

管理担当次長 開会にあたりまして、黙祷及び市民憲章の唱和を行いますので、みなさまご起立願います。

平成19年7月31日甲賀市教育委員会主催の行事において、尊い命を亡くされました美馬沙紀さん、藤田真衣さんに慎んで哀悼の意を表すとともに、お2人にさらなる安心安全への取り組みを進めることをお誓いし、黙祷をささげます。黙祷。

(一同 黙祷)

管理担当次長 ありがとうございます。お直りください。

続きまして、甲賀市市民憲章の唱和を行います。

(一同 市民憲章唱和)

ありがとうございます。ご着席願います。

管理担当次長 それでは、山田委員長からご挨拶をいただきましたのち、議事の進行もよろしくお願いいたします。

委員長 皆さんおはようございます。開会にあたりまして一言ご挨拶申しあげます。

暦の上では、ちょうど22日が小雪で、小さな雪が降り始める朝夕はめっきり寒くなりましたが、日中は暖かい日が続いております。いよいよ今年も残すところ1ヶ月あまりとなりましたが、皆様方に於かれましてはご健勝でご活躍の事とお慶び申し上げます。

また本日は、大変お忙しいところ第13回教育委員会定例会にご出席いただきまして誠に有難うございます。この11月は、児童生徒に於いても今日までの一定の成果を発表する学期であり、学習にも一番専念できる時ではないかと思えます。

私も今月は、青少年の育成会議、土山マラソン、いこかサッカー交流フェスタ、柏木小の柏っ子まつり、芸能大会、小中音楽会、信楽焼展と多くの事業に参加させていただきました。

スポーツ、音楽、芸能、文化と多くを学ばせていただきました。色々のイベントを通じて“親善”“友交”“育成”“成長”“協力”“忍耐”“成果”“発表”“努力”“伝統”“歴史”という重要な言葉も再認識させていただきました。まさに毎日毎日が歴史の1日1日を刻

んでいるものと実感いたしたところでございます。また、教育委員会事務局に於かれましても大きな事故や問題もなく、幹部の皆様方のご努力に感謝いたしておるところでございます。

先日、高島市では今年5月中学校の2年の男子生徒が校舎から転落し重傷を負った事故をめぐり、市教委は男子生徒が継続的な“いじめ”を受けていたとする調査結果を公表いたしました。今日どの学校に於いても“いじめ問題”は重要課題であります。いつどこで起こっても決して不思議ではありません。これを機に再度徹底した、いじめ防止対策に努めていただきますようお願いいたします。今回も学校側が最終的にいじめを把握する事が出来なかったと謝罪されました。対策の1つとして毎日放課後に全職員がミーティングを開き各生徒に関する情報を共有するのはいじめの早期発見の1つであると思います。常に気を抜く事なく緊張感をもって職務に当たっていただきたいと思えます。

今日は組織というものについて少々ふれたいと思えます。組織は何と言っても人と人とのつながりが一番で、人と心がかよわなければうまくいかないと思えます。先日こういう事を聞きました。JR九州の豪華客車“ななつ星in九州”が開業1周年を迎えますが、その人気は衰えず直近の申し込みでは33倍だそうです。同社の広報室は“お客様の満足には自信を持っています”との事です。豪華で広い木質の室内は、日常では味わえない空間と時間を演出しているとの事です。それをやりとげた手腕こそ大成功の鍵といわれています。そこでよく比較されますが、国鉄の民営化によってスタートしたJR各社の内、九州の明るい話題と列車事故や隠ぺいなど暗いイメージが先立つJR北海道との差は何からくるのでしょうか。九州の決算は黒字で北海道は赤字を続ける苦しい経営状況であります。また、九州は観光の利があると言われますが、北海道ほど自然の観光資源に恵まれた地区は他にありません。結局、問題は人と人とのつながりの強さだと思います。指摘の多くは役員同士のあつれき、労使の不仲など、人、心が交わえず、社を挙げて一丸になれない企業風土だといわれています。組織が力を

発揮する為には、人の心のつながりこそ最も大切と改めて思ったところでもあります。ぜひ参考にしていただきたいと思います。

委員長 それでは次第に従いまして、会議を進めさせていただきたいと思えます。

はじめに1. 会議録の承認（1）平成26年第12回教育委員会（定例会）の会議録の承認について、議題とさせていただきます。会議録につきましては、事前に委員の皆様方のお手元に配付させていただいておりますので、ご一読いただいたと思います。

何かご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

（全委員 質問等なし）

委員長 それでは、特にご意見ご質問等ございませんので、ただ今の（1）平成26年第12回教育委員会（定例会）会議録の承認については、原案のとおり、承認することとします。

委員長 続きまして、2. 報告事項といたしまして、（1）11月教育長教育行政報告について、資料2に基づき、説明をお願いします。

教育部長 それでは、（1）11月教育長教育行政報告について、資料2に基づきまして、10月30日開催の定例教育委員会以降、本日までの教育長の動静を中心に主な事項について行政報告をさせていただきます。

（以下、資料2により報告）

さて、新年度予算編成も佳境を迎えておりまして、重点事業等についても市長部局と協議を進めているところです。月が替わりまして12月になりますと定例議会が開催されるなど、あわただしい年の瀬を迎えることとなります。委員のみなさまにも、更なる教育委員会事務局職員に対しましてご指導をお願い申し上げ、11月の教育行政報告にさせていただきます。

委員長 ただ今の、（1）11月教育長教育行政報告について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

教育長 一点修正をお願いします。21日の第14回全国障がい者スポーツ大会報告会につきましては延期になりましたので、抹消をお願いいたします。

委員長 他にございませんか。

(全委員 質問等なし)

委員長 特にご意見、ご質問もないようですので、報告事項として終わらせていただきます。

委員長 次に、3、協議事項(1)議案第70号甲賀市漢字検定料補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、資料3に基づきご説明をお願いします。

学校教育課長 それでは、3、協議事項(1)議案第70号甲賀市漢字検定料補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、資料3に基づきその提案理由を申しあげます。

(以下、資料3により説明)

委員長 ただ今ご説明いただきました、(1)議案第70号甲賀市漢字検定料補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

(全委員 質問等なし)

委員長 特にご意見、ご質問もないようですので、(1)議案第70号甲賀市漢字検定料補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、原案どおり可決することとします。

委員長 続きまして、(2)議案第71号平成26年度教育に関する事務の管理並びに執行の状況の点検及び評価に関する報告書の策定について資料4に基づきまして、説明をお願いします。

教育総務課長 それでは、(2)議案第71号平成26年度教育に関する事務の管理並びに執行の状況の点検及び評価に関する報告書の策定について資料4に基づき、その提案理由を申しあげます。

(以下、資料4により説明)

委員長 今回の報告書の内容で、重点的というか課題というか注目されるところがあれば、説明してほしいです。評価できるところとか。

教育総務課長 C評価をいただいております公民館事業について説明いたします。これは、今まで以上に工夫が必要ということでCでありました。

中央館5館においては、社会教育の拠点としてその役割を果たすた

めの人材配置を行い、その他の館で地域市民センターと併設されている施設においては廃止をして、その役割は市民センターが担い、自治振興会等住民主体の生涯学習活動と協働、支援する体制を検討されることを期待するとのご意見をいただいております。

これにつきましては、今日、地域コミュニティの核となる自治振興会が各地域で設立されたことにより、生涯学習に関する関心の高まりとともに地域をつなぐ活発な取組みが全市的に展開されています。このことから従来公民館活動とされていた人と人、人と地域をつなぐ役割を自治興会等による地域コミュニティ活動に委ねていくことは今後の生涯学習、社会教育の推進において大切な視点であると考えますが、一方で、市民の知りたい学びたいとの多様な学習ニーズをきめ細かく取り組み、地域の特性を視野に入れながら事業を組み立て、さらに5つの中央館を各地域の生涯学習、社会教育における拠点施設として位置づけ、職員を配置しながら市民の多様な学習ニーズを支援する仕組みを継続して実施することとします。ご意見として、自治振興会等への活動として体制を検討されてはどうかということだったのですが、生涯学習、社会教育の拠点として位置づけて、今後も公民館活動を実施していきますと回答させていただいております。ただし今後においてその他の公民館については、現在の利用状況を調査、分析しながら地域のコミュニティ活動の場として、より効果的に活用されるよう施設の管理・運営方法等を各地域市民センター及び自治振興会とともに検討するというようにされています。特にC評価の公民館事業について説明させていただきました。

管理担当次長 補足ですが、各町にある中央公民館には今後とも職員を配置し発信していきませんが、委員さんのご指摘にもありますように小さい公民館といえますか、地域市民センターと併設されているところがあります。

水口であれば岩上、伴谷、柏木、貴生川あたりです。この公民館も旧町から体制の違いがあり、学区ごとに設置しているところもあればないところもあります。もともとからの公民館については、自治振興会でがんばっているところでは公民館としての行事や中央館から出て

きて事業をする頻度が減ってきているのではないかというご指摘もありまして、確かにそういうところもあります。また、まだ中央館から出て出前講座等をしているところもあり、一律にはいかないのですが地域の実情に応じて、自治振興会、地域市民センター、中央館とが協議する中で、自主自立でやっていっていただける講座もあります。

地域のニーズにもあっていれば、自治市振興会にまかせてもいいのではないかというご意見ですので、それはじっくりケースバイケースで協議を進めていきます。

ただし中央館は、教育委員会として、今後も継続してがんばってやっていくという思いであります。

委員長

この評価については、Cという厳しい評価をいただいたのですが、それを踏まえて今後の取組に十分努めていただきたい。A評価もたくさんございますので、それについては今後とも伸ばしていただきたい。それを踏まえて、反省することは反省するという事で、厳しい評価をいただいた部分については、努力をしていただきたい。

今日で最終決めて報告書として議会とホームページでということですね。

教育部長

そうです。委員さんのすべてがC評価ではないというご理解と、全体の中でCと決定いただいています。マイナス的なイメージではなく、前向きな考えの中でのC評価とご理解いただきたいと思います。前進的な話の中で公民館事業としてのありようのことで、生涯学習のありようとしては必要ということで当然共通理解の中で評価いただいていると考えています。

委員長

特にご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委員

公民館事業の中で文言について、事業の成果、右側のページの上ですが、延人数ではあるが15万人を超える住民がというのは、合併以来15万人ということでしょうか。公民館を立ち上げてからということですか。

甲南公民館長 15万人を超える住民というのは、私ども各公民館が毎日の利用者の数を把握しています。その統計の数が15万人を超えているという

ことです。条例公民館14館で平成25年度の数です。

委員長 他にご意見、ご質問もないようですので、(2)議案第71号平成26年度教育に関する事務の管理並びに執行の状況の点検及び評価に関する報告書の策定について、原案どおり可決させていただきます。

委員長 続きまして、(3)議案第72号平成26年第7回甲賀市議会定例会(12月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取について、資料5に基づき説明をお願いします。

教育部長 それでは、(3)議案第72号平成26年第7回甲賀市議会定例会(12月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取について、資料5に基づきその提案理由を申しあげます。

(以下、資料5により説明)

委員長 ただ今の、(3)議案第72号平成26年第7回甲賀市議会定例会(12月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取について、何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

(全委員 質問等なし)

委員長 特にないようですので、(3)議案第72号平成26年第7回甲賀市議会定例会(12月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取について可決いたします。

委員長 続きまして、(4)議案第73号平成26年度全国学力・学習状況調査の結果に係る学力向上啓発資料について、資料6に基づきご説明をお願いします。

学校教育課長 それでは、(4)議案第73号平成26年度全国学力・学習状況調査の結果に係る学力向上啓発資料について、資料6に基づきその提案理由を申しあげます。

(以下、資料6により説明)

委員長 ただ今、ご説明いただきました(4)議案第73号平成26年度全国学力・学習状況調査の結果に係る学力向上啓発資料について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

委員長 各保護者に配付してくれるのはいつになりますか。

学校教育課長 12月個別懇談の席で検討しております。

委員長 一言添えるのは重要です。読んでもらえる形で渡してください。

委員 11月22日に県庁で開催されました2014教育の日フォーラムに出席させていただきましたが、その中で全国学力・学習状況調査の報告がされていまして、学力向上した市内1中学校の取組例が紹介されていました。大変喜ばしく聞かせていただいておりますし、今後ともそういった取組をよろしくお願ひしたいと思います。

委員長 他にないようですので、(4)議案第73号平成26年度全国学力・学習状況調査の結果に係る学力向上啓発資料について、原案どおり可決することとします。

委員長 それでは、4、その他の(1)あいこうかうたプロジェクト2014開催について、資料7に基づき、ご説明をお願いします。

歴史文化財課長 それでは、(1)あいこうかうたプロジェクト2014開催について資料7に基づきましてご説明申しあげます。

(以下、資料7により説明)

委員長 招待券が2枚ありますが、これは誰かにあげるのですか。皆さん時間の都合をつけてご参加ください。

委員長 続いて、(2)平成27年成人式開催について、資料8に基づき、ご説明をお願いします。

管理監兼社会教育課長 それでは、(2)平成27年成人式開催につきまして、資料8に基づきましてご説明申しあげます。

(以下、資料8により説明)

委員長 成人式が、1月11日に開催されます。出席よろしくお願ひします。

委員長 それでは、連絡事項としまして、(3)平成26年第14回(12月臨時)教育委員会については、12月18日(木)午前8時40分から開催をさせていただきます。また、次に(2)平成26年第15回教育委員会委員協議会については、12月18日(木)の午前10時30分から、開催させていただきます。

委員長 それでは、最後に教育長からご挨拶をいただきたいと思ひます。

教育長 過日、山内小を訪れました際、『今年は「カメムシ」が例年になく多く発生している』、との話を聞きました。カメムシは大雪を連れて

くる、との言い伝えもあり、今後、雪は勿論ですが、インフルエンザなど、早めの備えが求められるところです。

さて、教育行政報告にも、委員長のご挨拶にもありましたが、今月も文化・スポーツに係るさまざまな催しが開催され、いずれも多くの参加者のもと、活気にあふれ、有意義かつ感動的な時間を共有させていただきました。委員各位におかれましても様々な場にご参加いただき、子ども達をはじめ市民の皆さんの熱心なお取組をつぶさにご覧いただき、誠に有難うございました。

中でも、すっかり恒例となりました「第28回あいの土山マラソン」では、今年も全国から3700人を超える多くの市民ランナーをお迎えし、今年も関係各位のご支援のもと無事大会を終了させていただきました。ある参加者からは、大都市で開催される大会にも出場しているが、この大会は素晴らしい。自然の美しさを改めて実感できたことと、何と言っても大都市マラソンにはない人の温かさがある大会。大変だろうけど長く続けてほしい、との嬉しいお言葉を頂戴し、開催に向けて直向に取り組んでくれた事務局職員の苦勞も報われたのではないかと感じ入った次第でありました。

一方、1日に開催された「青少年健全育成市民大会」では、県立中を含め市内7中学校3年生の生徒が高いレベルにある「主張」を見事に発表してくれました。いずれの生徒の主張にも「立派に生きよう」とする強いメッセージが込められており、その主張を聴きながら、胸が詰まる思いも味わわせてもいただきました。

9年に亘る義務教育最終年度にある中学生。見事にバランスのとれた学力と心の成長を実感させられ、当該生徒の成長を支えつづけてこられたご家族はじめ先生方のご苦勞に、頭が下がる思いでありました。

いずれにいたしましても、学びの環境を整え「人育て」を本務とする教育委員会が担う責務は誠に大きいものがあり、それは、子ども達保護者の皆さん、そして市民の皆さんとの信頼関係の上に成り立つものであり、このことにはいささかの揺るぎを生じさせることは許されません。

いよいよ12月議会目前であります。市民の代表である議員の皆さんの質問に丁寧にお答え申し上げることを通して、教育行政へのご理解ご支援をお願いしようと思っております。

今後とも委員各位のご指導ご助言をお願いし、定例会閉会に当たっての挨拶といたします。

委員長

それでは、以上をもちまして平成26年第13回甲賀市教育委員会定例会を閉会とさせていただきます。

〔閉会 午前10時58分〕